

男女共同参画と多様性社会に関するアンケート調査票

担当 北上市まちづくり部地域づくり課

Q1. ご回答される方ご自身についてうかがいます。あてはまるものの（ ）に○をご記入ください。
また、その他の項目には回答をそのままご記入ください。

Q1-1 あなたは

() 北上市内に居住している。

() 北上市外に居住しているが、北上市内に通勤・通学している。

Q1-2 あなたの性別は？

() 男性 () 女性 () その他

Q1-3 あなたの年代は？

() 10 歳代 () 20 歳代 () 30 歳代

() 40 歳代 () 50 歳代 () 60 歳代 () 70 歳代以上

Q1-4 あなたの世帯構成は？ ※配偶者は内縁のパートナーを含む

() 単身世帯 () 配偶者と2人暮らし () 二世帯世帯（親と子）

() 三世帯世帯（親と子と孫） () その他【 】

※世帯の状況をうかがいます。下記にもご記入ください。

Q1-4-1 自身を含め、65歳以上の方はいますか？

() いる () いない

Q1-4-2 自身を含め、日常生活に介助や介護を必要としている人はいますか？

() いる【同居】 () いる【別居】

() 現在はいないが、過去に介護経験がある () いない

Q1-4-3 自身を含め、18歳以下の方はいますか？

() いる () いない

▶ 18歳以下の方がいる方は、あてはまるもの全てに○をご記入ください。

() 3歳未満 () 3歳以上未就学児 () 小学生 () 中学生

() 高校生 () その他【 】

Q1-5 あなたの主な職業は？

() 会社員 () 会社経営 () 公務員・団体職員

() 自営業（農林水産業） () 自営業（農林水産業以外）

() パート、派遣社員、内職、アルバイト () 専業主婦[主夫]

() 学生 () 無職 () その他【 】

Q1-6 配偶者の働き方は？ ※配偶者は内縁のパートナーを含む

() 配偶者がいない・同居していない () 同じ職場に勤務

() フルタイムで別の職場に勤務 () パートタイムで別の職場に勤務

() 専業主婦[主夫] () 学生 () 無職 () その他【 】

Q2. 本調査では、あなたが知っていることやその認識についてうかがいます。あなたは次の事項を知っていますか。(1～3) **あてはまるもの1つに○をしてください。**

事項	知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
1：固定的性別役割分担意識	3	2	1
2：ワーク・ライフ・バランス	3	2	1
3：LGBT(※)	3	2	1
4：パートナーシップ宣誓制度	3	2	1
5：多文化共生社会(※)	3	2	1

※「LGBT」とは、レズビアン(女性として女性が好きな人)、ゲイ(男性として男性が好きな人)、バイセクシュアル(同性も異性も好きになる人)、トランスジェンダー(生物学的性と性自認が異なる人)の英語の頭文字をとった言葉です。

※「多文化共生社会」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく社会をいいます。

Q3-1. 北上市で暮らす外国人は増えたと感じますか。**あてはまるもの1つに○をしてください。**

()大いに感じる ()ある程度感じる ()あまり感じない
()ほとんど感じない ()分からない

Q3-2. 地域社会に外国人が増えることをどう思いますか。**あてはまるもの1つに○をしてください。**

()好ましい ()どちらかといえば好ましい ()どちらかといえば好ましくない
()好ましくない ()どちらともいえない

Q3-3. あなたのイメージ・認識として、地域社会や職場等は次の人にとって「暮らしやすい」と思いますか。**それぞれの項目に対し最もあてはまるもの1つに○をしてください。**

事項	暮らしやすい	やや暮らしやすい	やや暮らしにくい	暮らしにくい
1：外国籍・外国出身の人	4	3	2	1
2：日本語を読むことが難しい人	4	3	2	1
3：LGBT	4	3	2	1
4：妊婦とその家族	4	3	2	1
5：乳幼児がいる家族	4	3	2	1
6：介護が必要な人がいる家族	4	3	2	1
7：ひとり親家庭	4	3	2	1

Q3-4. 多文化共生社会実現のために必要だと感じることに**あてはまるものをすべて選択して○をください。**

()日本の習慣や生活ルールを守る ()日本語や日本の文化を学ぶ
()地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする
()外国人に対する差別意識を持たないようにする
()近くの外国人と日常的なあいさつをする ()外国の言葉や文化・習慣を学ぶ

()その他

Q4. あなた自身またはあなたの周囲（家庭・地域・職場等）における認識についてうかがいます。**それぞれの項目に対し最もあてはまるもの1つに○をしてください**

1:あなたは家庭において家事などを行っていますか	十分行っている		行っているが十分ではない		行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない
2:あなたは家庭において子育てを行っていますか	その状況にない	十分行っている	行っているが十分ではない		行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない
3:あなたは家庭において介護を行っていますか	その状況にない	十分行っている	行っているが十分ではない		行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない
4:「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか	賛成		どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
5:あなたの周囲で女性の能力は十分活用されていると思いますか	そう思う		どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

Q5. あなたの周囲での地域活動（自治会・ボランティア活動・趣味等のサークル等）において、次の項目で性別による差が生じていると感じますか。**それぞれの項目に対し最もあてはまるもの1つに○をしてください。**

1:様々な地域活動への参加のしやすさ	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
2:地域活動での重要事項の決定	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位

Q6. あなたの職場の状況についてうかがいます。※無職・専業主婦〔主夫〕・学生の方はQ7へ

Q6-1 あなたの所属する事業所・法人等の規模で**最もあてはまるもの1つに○をしてください。**

家族のみ	5人以下	6人～10人	11人～30人	31人～50人	51人～100人	101人以上
------	------	--------	---------	---------	----------	--------

Q6-2 あなたの所属する職場・事業所・法人等は次の項目で性別による差が生じていると感じますか。
あなたの認識として、**それぞれの項目に対し最もあてはまるもの1つに○をしてください。**

1: 業務での重要事項の決定	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
2: 賃金	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
3: 休暇制度の利用しやすさ	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
4: 昇進・人事評価	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位

Q6-3 あなたの所属する職場・事業所・法人等では、次の制度がありますか。また活用されていますか。
それぞれの項目に対し最もあてはまるもの1つに○をしてください。

1: 育児休暇	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
2: 介護休暇	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
3: 時短勤務制度	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
4: フレックスタイム	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない

5: テレワーク・在宅勤務	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
6: 副業・兼業制度	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
7: 子の看護休暇	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない

Q6-4 あなたの所属する事業所・法人等には外国籍の方はいますか？

いる	過去はいたが今はいない	いない	わからない
----	-------------	-----	-------

Q6-5 あなたの所属する職場・事業所・法人等は次の項目で国籍による差が生じていると感じますか。また、今は外国籍の人がいなくても将来外国籍の人が職場に入った場合、差が生じると思いますか。
それぞれの項目に対し最もあてはまるもの1つに○をしてください。

1: 業務での重要事項の決定	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位
2: 賃金	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位
3: 昇進・人事評価	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位

Q7. あなたの日常生活における、【仕事】【家庭生活】【地域・個人の生活】の優先度についてうかがいます。希望する優先度と、実際の優先度のそれぞれに対しあてはまるもの1つに○をしてください。

1: 希望	【仕事】を優先	どちらかといえば【仕事】を優先	同じように両立	どちらかといえば【家庭】【地域・個人等】を優先	【家庭】【地域・個人等】を優先
2: 現実	【仕事】を優先	どちらかといえば【仕事】を優先	同じように両立	どちらかといえば【家庭】【地域・個人等】を優先	【家庭】【地域・個人等】を優先

※ここからは全員がお答えください。

Q8. 次の事項について、あなたの周囲（家庭・地域・職場等）で生じていますか。また、それぞれの事項における行政・民間の相談窓口をご存じですか。周囲で生じているか（1～3）、相談窓口を知っているか（A～C）それぞれに対しあてはまるもの1つに○をしてください。

事項	周囲で生じているか			相談窓口を知っているか		
	生じている	生じていない	この用語を知らない	知っている		知らない
				使ったことがある	使ったことはない	
1: ドメスティックバイオレンス(DV)	3	2	1	A	B	C
2: デートDV	3	2	1	A	B	C
3: パワーハラスメント	3	2	1	A	B	C
4: セクシャルハラスメント	3	2	1	A	B	C
5: LGBT等ハラスメント	3	2	1	A	B	C

※相談窓口は5ページ目に記載しておりますので後ほどご覧ください。

Q9. その他、本アンケートの内容や今後の男女共同参画と多様性社会の推進に向けたご意見等がありましたらご記入ください。(自由記載) ※欄が不足する場合は別紙(様式は自由)に記入し、同封してください。

ご協力ありがとうございました。

アンケート調査はこれで終了です。本票は6月13日(金)までにご提出ください。

＜参考＞アンケート中 Q8 の事項に関連する相談窓口については次のとおりです。

事 項	相談先
ドメスティックバイオレンス(DV) デート DV	岩手県男女共同参画センターDV 相談 電話 水～金、日 019-606-1762 岩手県福祉総合相談センター 電話 月～金 019-629-9610 土日祝 019-652-4152 北上市こども家庭センター(女性相談) 電話 月～金 0197-64-7573
パワーハラスメント セクシュアルハラスメント	岩手労働局(職場の悩み相談) 電話 月～金 0120-980-783
LGBT 等ハラスメント	岩手県男女共同参画センターLGBT 相談 電話 火・金 019-601-6891

※いずれも、命にかかわると思われる場合は、至急、警察 110 番へご相談ください。

担 当 北上市まちづくり部地域づくり課
多様性社会推進係
連絡先 電 話 0197-72-8300
メール chiiki@city.kitakami.iwate.jp